

5/7 くにが統一される

なぜ、こんなに大きい古墳をつくったのだろう

① 古墳時代はどのような時代か。

3世紀中ごろから7世紀初めごろまでの時代。古墳は、その地域を支配していた王や豪族の墓で3世紀後半には、近畿地方や瀬戸内海沿岸の地域でつくられはじめた。

②大山（仁徳陵）古墳について

大阪府堺市にある、5世紀の中ごろにつくられた、日本で最も大きな前方後円墳。約796億円の使用。

③このころ作られた古墳について

見つかっているもの（銅鏡）（鉄の刀）（鉄製の刃をはめたくわ）

ほうむられている人（さしずをしながら、水田を広げていった、力のある人）

どの地域を中心に作られたか（大和（奈良県）や河内（大阪府））

どのような人物がいたと考えられるか（この地域に強大な権力をもった人物（豪族や王））

④P65 ③古墳づくりのようす（想像図）を見て、気付いたこと 3つ

・作業を監督する人がいる ・たくさんの人で、丸太の上の石を運んでいる

・石をリレー方式で渡して、しき詰めている ・たくさんの焼き物（円筒・はにわ）を並べている

古墳にほうむられている人は、水田を広げていった力のある人である。勢力を広げる過程で、多くの人々を支配し、強力な力をもつ「くに」の王や豪族が、自分の力をみんなに示すため。